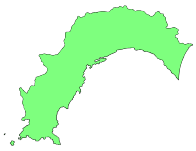
クロスロード新聞

第26号

2009年12月23日

# クロスロードのつどい In 高知 開催！



**発行元：**108-8345　港区三田2-15-45
慶應義塾大学商学部　吉川肇子研究室内
クロスロードサポーター事務局

## クロスロードのつどい　in 高知　開催速報！

「クロスロードのつどい in 高知」が、高知市役所危機管理室の今西さんおよび有能な部下である濱田さん、武内さんの見事なアレンジにより、高知市役所たかじょう庁舎にて、12月5日に開催されました。

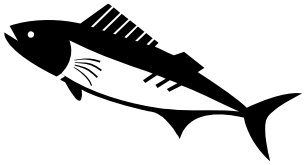
当日の進行は、神戸クロスロード研究会　柿本雅通さんにより、これまたスムーズに行われ、大変和気藹々とした雰囲気で進みました。いつもながら議論が沸騰して時間内に収まりませんでしたが、その続きは、懇親会へと引き継がれました。当日の様子の詳細は次号でご紹介するとして、まずは写真で様子をご覧下さい。

「高知以外でもやらないの?」というお問い合わせも頂いています。鋭意企画中ですので、決まり次第またお知らせいたします。

**←さすがの司会進行は柿本さん**

**熱いディスカッションは時間が足りない！続きは懇親会で！→**
**↓**

**←伊野商業に移られた谷内先生はこの日がお誕生日！おめでとうございます。**



### 目次

つどい　in 高知 速報！　1
消防団クロスロード　2
おめでとう！ わしん倶楽部　3
復活！ ソナエーター(13)　3
秋田大学で クロスロード　4
こんなところに 心理学(26)　5
対人魅力　5
進級報告　6
プロジェクト仲間　6

クロスロード次号のご案内
発行予定日：
2009．2．9．
つどい in 高知　詳報、ほか

**責任編集**

- チームクロスロード
- クロスロード・サポーター
- SPECIAL THANKS:
  高知県地震・防災課
  小溝智子（漫画企画）

## クロスロード消防団編

西宮市消防団上甲子園分団分団長　小林宗隆さんが、消防団クロスロードをお送りくださいました。全部で20問作成されており、消防団通常訓練内で机上研修としてお使いになっています。ここでは、そのうち、10問をご紹介します。

１０問目の設問は、小林さんが分団員に尋ねたい重要な設問の一つだったそうですが、8月の兵庫県佐用町の台風災害の記事を読んだ団員からはＪＵＳＴな設問だったと反響があったとのことです。

| 設問番号 | 人物設定 | 設問 | YES | NO |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 消防団班長 | 震度7弱の地震直後、情報収集広報巡回中、倒壊建物の中に人が居り救出にすぐ来てほしいと駆け込み通報があった<br>巡回を止めてすぐ救出に行く？ | 救出に行く | 巡回を続ける |
| 2 | 消防団分団長 | 震度6弱の地震直後です。家族にけが人が居ますが、参集しなければなりません<br>すぐ出動する | 出動する | 様子を見る |
| 3 | 分団指揮者 | 分団地域内で火災発生、火炎が確認できます。出動途上、「他の地域で大火災が発生している、そちらに向かえ」との指令室より指令あり<br>指令に従う？ | 指令に従う | 地域内火災に行く |
| 4 | 消防分団員 | 大きな地震があり大津波警報が出ています。津波到達時間は10分くらいで第１波が来ます。高齢者の避難が未だ半分程度で完了していません。<br>避難者保護を続けますか | 続ける | 止めて避難する |
| 5 | 消防車機関員 | 火災放水中です。一般車両が進入してきましたが、ホースを踏まなければ進入出来ません。強引に通行しようとしています。<br>強行に阻止する | 阻止する | 無視する |
| 6 | 消防分団員 | 午前7時頃震度6強の地震が発生しました。家族は無事でした。あなたは消防団詰所に参集しますか？<br>すぐに参集する | する | しない |
| 7 | 消防分団員 | 強い地震が発生し倒壊家屋が多数見受けられます。強い雨も降っています。あなたは学校の鍵の保管場所を知っています。体育館を解錠し避難所とし鍵を持ち出し解錠しますか？ | 持ち出す | 持ち出さない |
| 8 | 水防区消防団員 | 消防車両巡回中ゲリラ豪雨で幹線道路が水没の可能性があります。あなたの判断ですぐに通行止めにしますか。<br>通行止めにする。 | する | しない |
| 9 | 消防団分団長 | 強い地震が発生し近所に倒壊家屋が数件あり下敷きにななっている人が居ます。救助資機材はありません。その場で救助しますか、消防団詰所に行きま<br>その場で救出する | 救出する | 詰所に行く |
| 10 | 水防区消防団班長 | 小さい河川で3人編制で巡回中、川に流されれている人を発見しました。ライフジャケットを着けていますが救助の為、河川に入りますか。<br>救助の為河川に入る。 | 入る | 入らない |

# お祝いニュース！
# 「わしん倶楽部」が優秀賞受賞！

↑クロスロードのつどいでも、受賞の内容をポスターでご紹介くださいました

「クロスロードのつどい　in 高知」に仙台から参加された田中勢子さんよりうれしいお知らせがありました。

「とうほく☆地方を守る防災コンテスト2009」において、田中さんが参加されている<わしん倶楽部>が最終審査13団体エントリー中、２番目の優秀賞を受賞されました。11月28日に福島県郡山市の日本大学工学部で開催された発表会では、クロスロードや歩一歩体操(ズーズー弁バージョン)を使った啓発活動が高く評価されました。

神戸、呉、仙台と3都市を繋ぐ活動をされている「わしん倶楽部」の皆さんに心からお祝いを申し上げます。

# 復活！ソナエーター(13)：学生ソナエーター

「防災を学ぶ学生として、ふだんの生活で心がけていること、こだわりの品などなど、紹介してもらえればと思うのですが」ということで、矢守先生、吉川先生よりこのソナエーターのコラムを書く機会をいただきました。せっかくの機会と思い、お引き受けしたものの、改めて考えますと普段の生活で心がけていることもこだわりの品も特に・・・といった状況で、恥ずかしながら何を書こうかと本当に困りました。しばらく考えましたところ、「パソコンの防災」と「引っ越しで防災」の2つは実践していることを思い出しました。前者は、早い話がデータのバックアップ等に関する話ですので、インターネットなどでお調べいただいたら良いかなと思いましたので、今回は、後者の「引っ越しで防災」について書かせていただきたいと思います。

前置きがずいぶんと長くなりましたが、引っ越しの際は防災対策をする良い機会だと考えています。住居そのものの選択の話もありますが、今回は家具の配置について考えたいと思います。

私の家族はいわゆる転勤族ではなかったのですが、私はこれまでに8回引っ越しをしました。1995年は神戸市垂水区に住んでおり、地震の大きな揺れに見舞われました。震災当時、兄のベッドのすぐ横には机があり、そこにはパソコンのモニタが置いてありました。幸い、地震の際には転落しませんでしたが、もしそれが転落していれば兄の頭部に直撃していたかもしれません。

この震災をきっかけとして、我が家でも家具を固定しようということになりましたが、賃貸住宅だったため大きな穴等がのこるような固定具は使えず、跡が目立たないように釘とロープを使い固定することになりました。その後も何度か引っ越しましたが、賃貸住宅ばかりでしたので、家具の固定方法が問題となりました。

そこで次善の策として考えたのが、万が一の際にケガをしない家具の配置です。これならば、家の壁や柱に穴をあける必要がありません。今、私の下宿では仮に家具が倒れたとしても、寝ているところに直撃しないような場所に本棚やタンスを配置しています（写真左手の本棚が転倒しても直撃は避けられると思います。本は飛んで来るかもしれませんが。）。これは、現在の家に引っ越した際にそのようになるように配置方法を考えました。もちろん安全に配慮しているからといって、使い勝手が悪くなっているということもありません。防災意識の高い方ならば寝室に家具を置くなんてとんでもないとお思いかもしれませんが、私の場合は、ワンルームの下宿ですので、全ての家具を1部屋に入れざるを得ない状況です。

すでに設置している家具の配置換えとなるとなかなかに重労働で、簡単にはできないかと思いますが、引っ越しの際は全ての家具を動かす機会ですので、安全に配慮した家具の配置に変更する絶好の機会だと思います。もちろん、安全な場所に設置した上で固定するのが理想ですが、何らかの事情で家具の固定ができない場合でも、配置方法を工夫することで地震の際の被害を軽減することができるように思います。

ちなみにこのコラムを書く際にインターネットで調べたところ、最近では特殊な粘着材を使って家具にも家にも跡を残さず固定できる固定具があることを知りました。このコラムを書くことで私もひとつ防災の勉強ができました。

（京都大学大学院情報学研究科　城下英行さん）

# 秋田大学でクロスロード

秋田大学教育文化学部4年生の畠山沙織さんと齋藤茜さんから、秋田大学ゲーミング・シミュレーションの体験セッションで「クロスロード：神戸編」を実施した様子を報告頂きました。おふたりは、卒業研究として、2000年有珠山噴火の聞き取り調査をもとにした「クロスロード：火山編」を作成されています。完成版は追ってこの新聞でご紹介いたします。お楽しみに。。。

写真1は、前半、タイプAのゲーム方式を用いてクロスロードを実践している風景です。「クロスロード【神戸編】」の中から1012、1016、1026、1027、1030の問題をプレーしていただきました。

それぞれが自分の意見を出し合い、活発に議論している様子が見受けられました。すぐにイエスかノーかの意見を決められる人と決めかねている人に分かれていたように感じます。

今回のプレーヤーはやはり災害関連の授業や神戸での実習（災害現場の見学）を経験しているだけあり、具体的な意見が多かったように思います。また、意見だけでなく解決策も挙がりました。例えば、【神戸編1012】についていえば、イエスの意見として「災害対応の中枢なので、他の対応が遅れる」、「避難所に指定されていないので支援物資が届かない」という意見、ノーの意見として、「一度集まった避難者がまた移動するのは大変」という意見、また、解決策として「庁舎には普段使っていない部屋があるはずなので、それを避難所にする」という意見がありました。

今回ファシリテーターを経験してみて、1問終わるごとに解説を入れても良いかも知れないと思いました。その理由として、自分の意見を提示し、議論が白熱したものの、話しっぱなしで議論が宙に浮いたまま次の問題に移行してしまい、プレーヤーが納得していない様子だったことが挙げられます。解説を入れた問題については納得した様子でしたので、そのような解説の入れ方があっても良いのではないかと思いました。

2回目も同じプレーヤーでゲームを行いました。プレー方式は『クロスロード・ネクスト』で杉浦先生が提案しておられる「集団クロスノート」です。時間があまりなかったので、YES/NOカードで自分の意思を示した後、付箋に自分の意見を一言書いて、イエスとノーのエリアを書いたA3紙上に張ってもらう形にしました。

私自身、ファシリテーターと集団クロスノートルールが初めてだったので、段取りに少し手間取りました。ノートを使ってどのように話し合いをするのかについての説明が足りず、問題1枚目をプレーした時は“プレーヤーが意見を書いて張ったあと、個々のプレーヤーがじーっと読む”という形になって、話し合いにつながりませんでした。その後、「書いた意見について順番に読んでお話してください」と伝え、話し合いが少し進みました。

集団クロスノートをプレーした感想として、「タイプAと比べて紙上で意見が蓄積できるから、他のグループのものなどを収集して傾向などを見ていくといいのではないか」「意見が見えると話しやすい」など、個々の意見を見える形で示すことの有用性を感じさせるコメントをいただきました。

**写真1　プレー中！**

**写真2　集団クロスロート**

その他、座布団をお菓子にしたことで、「お菓子が欲しいからYESで」など、自分の本当の意見とは違う決定をして、それに沿って意見を考えるという人も出てきました。お菓子をとりたいという意識で、プレー方式のタイプAとタイプBが混同したゲームになっていたと思います。

気になるのは、YES/NOを提示する→付箋を書く→話し合い→次の問題と、作業が移るごとに間があくというところです。次の問題へ移るきっかけも難しいと感じました。

# こんなところに心理学(26)：チームで仲良く仕事をするために

私たちは、どんな人と仲良くなりやすいのでしょうか?このことを心理学では、人に対する魅力の視点から研究しています。

一口に魅力のある人といってもいろいろですが、男女を問わず、身体的な容姿の優れた人（つまり、美人とか，ハンサムとか、そういう人達のことです)にひかれることがわかっています。

その他に重要な条件として、近接性、すなわち、近くにいる人と仲良くなるということもわかっています。これは、前にもご紹介した「単純接触の効果」(会えば会うほど好きになる）が影響していると思われます。

上の2つは、容姿とか、会う回数とか，どちらかといえば表面的な特徴が好意を作るのに重要であるという考え方ですが、内面的なこと、すなわち、態度や意見が似ていることが魅力を増すこともわかっています。「類は友を呼ぶ」というような言い方をしますが、考え方が似ていると、お互いに意見の正しさを確認しあえるので、それがつきあうことの報酬になっているのだと解釈されています。確かに、自分の意見を人に肯定してもらう方が、否定されたり批判されたりするよりもずっといいですよね。

それから、これはやや戦略的な話になりますが、好意というのは「返報性」があることがわかっています。返報性というのは、お返し、ということです。人は、自分のことを好きになってくれる人を好きになる、ということなのです。好意は、このように人と人との間をやりとりされるものなのです。つまり、好意は「お互い様」、自分のことを好きになってもらうためには、まず自分から相手に好意を持つこと、つまり好意を、いわば贈り物として、相手に差し出すことも重要なのです。

職場の中でチームで仕事をしなければならなくなったとき、上の条件のことを頭の片隅に入れて、人選をしてみてください。容姿、は、残念ながらなかなか思うようには操作できないかもしれませんが、意見や態度の似ている人同士でチームを作るとか、席の近い人、同郷の人や同じ出身校など共通点のある人を選ぶのもいいでしょう。

チームを組んだら、お互い好意を交換しましょう。好きになってもらう第一歩は、まずこちらから「好きです」オーラをだしてあげること。そうすれば，相手もきっと好意をお返ししてくれることでしょう。

ただし、この話には1点注意しておくべきところがあります。それは、似たもの同士や仲のよい人同士のグループは、危険な意思決定や、愚かな意思決定をしてしまいがちであることがわかっているからです。このことを、専門的には、それぞれ「リスキーシフト（risky shift)」。「集団浅慮(グループシンク、Groupthink)」といっています。仲のよい人同士だと、お互いの意見を批判的な目で見直したり、問題の検討を十分にしたりすることがおろそかになるため、ついつい「このくらいは大丈夫」という甘い見積もりをしたり、「私たちが正しい」というような独善的な決定をしがちになるのです。

このようなことを防ぐ対策として、あえて反論をする人をそのグループにいれておくとか、あるいは、グループのリーダーが、その批判的な意見を述べる役割をとるようにする、ということが提案されています。

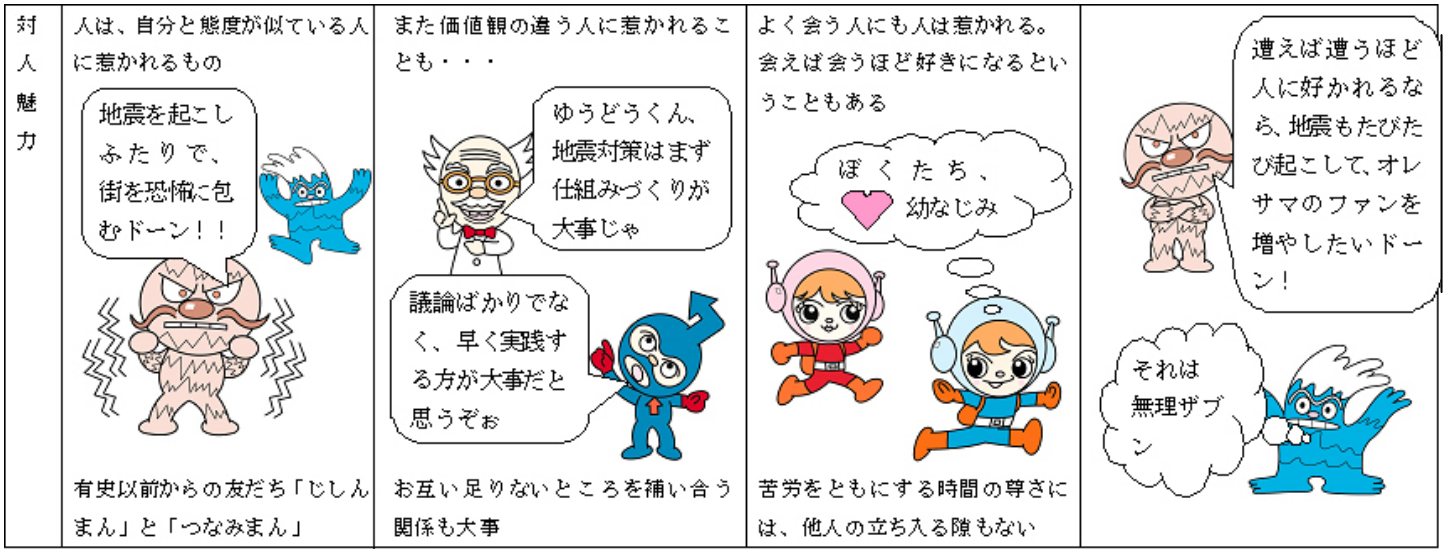
このように考えてくると、チームがよりよい成果を上げるためには、お互いが仲良しであるということが大事なのはもちろんですが、時には異なる意見をいうことや、チームに耳の痛い話であっても率直に話し合う風土があることも大事だということがわかります。

みなさんの仕事のチームは仲良くされていますでしょうか?そうじゃない、と言われる方は、まず好意の交換から始めて見てはいかがでしょうか?頻繁な飲み会も効果があるかもしれませんね。

仲良しチーム、と自信ある方も要注意。自分たちだけで突っ走っていないか、時にはチェックも必要ですね。

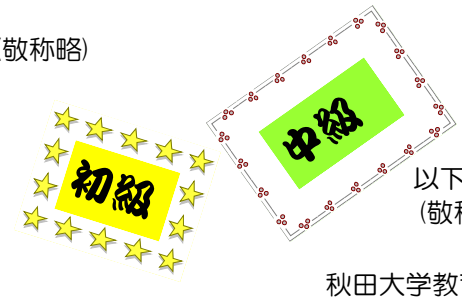
## 対人魅力

**高知県防災キャラクター©やなせたかし**

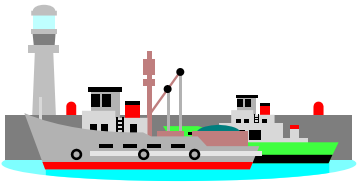


# 認定者続々！ファシリテータ進級認定

以下の方を**初級**に認定いたしました。（敬称略）

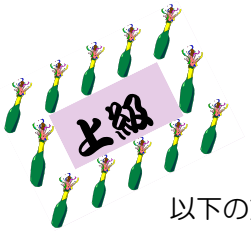



| | | |
|---|---|---|
| 横浜市 | 神奈川区 | 幡野　勝広 |
| | 神奈川区 | 佐藤　敬吉 |
| | 神奈川区 | 田端　義人 |
| | 神奈川区 | 小絲　昭平 |
| | 神奈川区 | 小川　勲夫 |
| | 神奈川区 | 千葉　秀雄 |
| | 神奈川区 | 田中　勇次 |
| | 神奈川区 | 間正　勝司 |
| | 神奈川区 | 山田　昌英 |
| | 神奈川区 | 関口　力 |
| | 神奈川区 | 北村　正幸 |
| | 神奈川区 | 八木下　仁 |
| | 神奈川区 | 森田　肇 |
| | 神奈川区 | 澤　兼一郎 |
| | 神奈川区 | 山﨑　輝男 |
| | 神奈川区 | 餅田　宏一 |
| | 神奈川区 | 中込　弘 |
| | 神奈川区 | 伊澤　政宏 |
| | 神奈川区 | 木村　憲正 |
| | 神奈川区 | 伊藤　忠房 |
| | 神奈川区 | 松永　ゆり |
| 横浜市 | 栄区 | 白藤　日出子 |
| 東京都 | 世田谷区 | 加藤　順子 |



以下の方を**中級**に認定いたしました。
（敬称略）

| | |
|---|---|
| 秋田大学教育文化学部 | 畠山　沙織 |
| | 齊藤　茜 |
| 仙台市　わしん倶楽部 | 田中　勢子 |

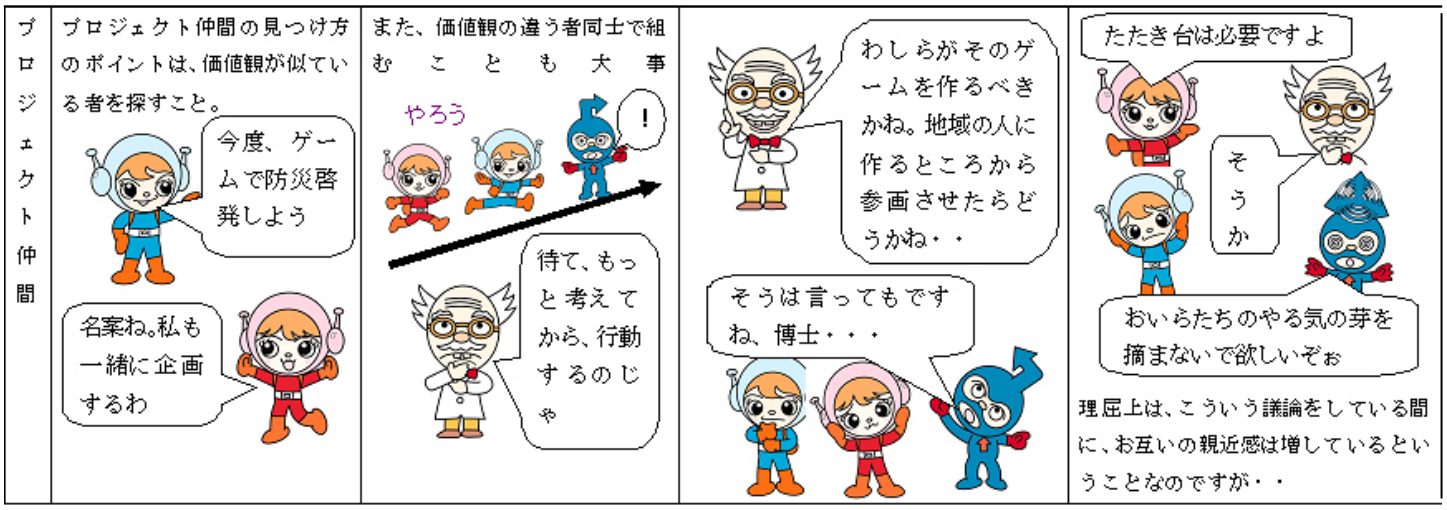



以下の方を**上級**に認定いたしました。（敬称略）

| | |
|---|---|
| 神戸クロスロード研究会 | 西　修 |
| | 吉本　和弘 |
| | 桑原　潤 |

【応募先】108-8345
港区三田2-15-45
慶應義塾大学商学部　吉川肇子研究室内
クロスロードサポーター事務局
電話：03-5427-1251　ファックス：03-5427-1578
メール：kiikkawa@aoni.waseda.jp

電子投稿はこちら↓
http://maechan.net/crossroad/toukou.html

# プロジェクト仲間

**高知県防災キャラクター©やなせたかし**